

第3回 市民おもしろ大学

講師

日本とフィンランドの架け橋 **橋本ライヤさん**
カンテレ奏者 **はざた雅子さん**

テーマ

フィンランドの自然と文化と神話
～そして、カンテレ演奏の夕べ～



自然、文化、教育、今各方面から注目を浴びている国フィンランド、今回は、フィンランドに縁の深いお二人に講演いただきます。一人は、フィンランド出身で日本とフィンランドを結ぶ架け橋のような存在、東海大学北欧学科で教鞭を取る橋本ライヤさん。もう一人は、カンテレ奏者のはざた雅子さん、フィンランドの民族楽器・カンテレの繊細でやわらかな音色は聴く人を包み込んでいくかのようです。

過酷な大自然との共存、それは100年先を考えて行動するフィンランドの生き方にあることを皆さんご存知でしょうか。時間に追われる生活の中で大切な何かを忘れてしまいそうになる、そんな時、日本とフィンランドをよく知る橋本ライヤさんだからこそできる自然と文化と神話の話を聴き、カンテレの優しい音色に包まれる2時間を皆さん体験してみませんか。

日時

平成17年5月28日(土) 午後7時～9時
開場：午後6時30分

会場

女性総合センター・アイム1階

定員

196名(要電話予約)

参加費

無料



橋本ライヤ プロフィール

フィンランド生まれ。1974年ユヴァスキュラ大学卒(言語学、政治学専攻)。同年、来日。1975～1977年国際基督教大学研究生。現在、東海大学北欧学科でフィンランド語とフィンランド文化・文学を教える。またフィンランド新聞の通信員として日本を母国に紹介。日本とフィンランドの架け橋として幅広く活動を続ける。その他、高齢者総合福祉施設至誠ホームにてクラブ活動指導及び国際交流担当。北欧文化協会理事。(社)日本フィンランド協会理事。

はざた雅子(カンテレ奏者) プロフィール

1985年 ラハティで開かれたカンテレサマーキャンプに参加。1988年 シベリウスアカデミー国立音楽大学カンテレソ科で、リトバ・コイスティネンに師事。1989年 アンニッキ・スモライダー＝ハウボネン主催のカンテレグループ「カエンピーカ」のメンバーとなり、フィンランド国内で演奏活動。1991年 復活祭にローマ教皇にカンテレを披露。シベリウスアカデミー国立音楽大学民族音学部で5弦のカンテレをミンナ・ラスキネンに師事。1992年「カエンピーカ」のメンバーと日本公演をする。1994年 帰国。翌年より東京を中心に演奏活動を始め、カンテレの普及と後進の育成にも努めている。1998年 日本で初めてのカンテレ・ソロアルバム「カンテレ」をサンパウロより発売。1999年 NHKラジオジャパン「ミュージックビート」に出演。2000年 オカリナ奏者宗次朗と「天空のオリオン」・「デュエット」で共演。2002年 ローマで開催された「ハランパー2002基金」コンサートに出演。2003年 オリジナル曲集「カンテレ」を発売。2004年 NHK「ラジオタ刊」に出演。

この大学は、多様な生き方、価値観をもつ立川市民を講師に招き、市民が共に学び、交流することによって、豊かな暮らしや地域社会を自ら考え創造する「市民文化」を地域に広めるとともに、市民活動や市民活動センターたちかわのあるべき姿を探ることを目的としています。様々な分野で活動されている講師の皆さんの人柄に触れてみて下さい。



予約・お問い合わせ先
市民活動センターたちかわ
TEL: 042-529-8323
E-mail: aiaivc@whi.m-net.ne.jp

